

家の座談会により取りまとめたもの。

座談会の出席者は、川口市立芝富士小学校の大澤正則校長、小平市立小平第六小学校の白井ひで子栄養教諭、新潟医療福祉大学大学院の塚原典子准教授（健康栄養学分野）、神奈川県立保健福祉大学の中村丁次学長（日本栄養士会名誉会長）の4人で、コーディネーターは（公社）全国学校栄養士協議会の長島美保子会長。

日本の和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたことをきっかけに、学校給食において和食と牛乳は合わないといった見解や報道が聞かれるようになった。そこで同協会では、「学校給食」、「牛乳・乳製品」、「和食」それぞれ本来の目的、役割、評価などについて、専門的な立場から基本的な視点による議論を行った。同協会では「学校給食関係者はもとより、保護者、地域社会、社会全般の人々からの問いかけに対して、本紙が広くさまざまな場面で活用されることになれば幸いだ」としている。

### ミートコンパニオンが タイで和牛肉レストラン展開へ

食肉卸しの㈱ミートコンパニオン（本社＝東京都立川市）は、このほどタイ・バンコクの現地法人ミートコンパニオン・インターナショナルの51%出資となる関連子会社サムライ・フードサービスを設立した。現地ですき焼きをメインにした和食レストランの展開や日本から直輸入した和牛などの食肉や野菜、酒の販売を行う。

今年3月には日本人をはじめ外国人が多く住む高級住宅街スクンビット地区に1号店となるすき焼き、しゃぶしゃぶレストランをオープンする計画。精肉売り場も併設する予定という。

### ブラジル政府、中国、サウジアラビア 向け牛肉輸出を再開

ブラジルのネリ・ゲレル農牧食料供給大臣は2014年11月18日、12月以降に中国とサウジアラビア向け牛肉輸出が再開できる見込みであると発表した。両国は、2012年12月にブラジルで非定型の牛海綿状脳症（BSE）が確認されて以降輸入を停止していたが、今月、同大臣を含むブラジルの代表団が両国を訪れ、ブラジル産牛肉の輸入再開に向けた協議を行っていた。

中国は、今年5月に査察団をブラジルに派遣し、その後、7月の習近平国家主席のブラジル訪問時に、ジルマ・ルセフ大統領との2国間会議でブラジル産牛肉の輸入再開手続きを進めることで合意していた。なお、中国向け牛肉輸出認定施設として8ヵ所が認定されている。一方、サウジアラビアは、現在、査察団をブラジルの食肉企業および加工施設に派遣しており、今後、早急に最終段階の実務交渉を詰めることとしている。なお、輸入停止前の2012年の牛肉輸出量は、サウジアラビア向けが3万3396t、中国向けが1万6630tであった。同大臣は、現在、輸入停止中のカタールなど中東諸国に対して、輸入再開に向けた交渉を進めていくとしている。

（農畜産業振興機構・海外情報）

### ◆人の動き◆

- 公益社団法人日本装削蹄協会（平成26年11月25日付）会長 佐藤 浩二
- 一般財団法人畜産環境整備機構（平成26年12月10日付）理事長 内田 賢一
- 東西産業貿易株式会社（平成26年12月5日付）代表取締役会長 村田 良樹▽代表取締役社長 槇 章介